

警察署協議会会議録

八女警察署協議会

開催年月日時	令和2年8月11日 午後4時30分 から 令和2年8月11日 午後5時30分 まで	
開催場所	八女警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、 地域課長、黒木警部交番所長、刑事課長、交通課長、 警備課長、事務局
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため、前回の協議会開催から約半年振りの開催となる。</p> <p>全国的に感染者が増加しているが、新型コロナウイルスは、目に見えない相手なので、それぞれの立場で、しっかりと感染防止対策に取り組む必要がある。</p> <p>今年は、梅雨が8月によりやく明けるなど非常に長く、平成24年7月の九州北部豪雨災害以上の雨量となり、道路、家屋等への被害はあったが、幸いにも人的な被害はなかった。</p> <p>梅雨が明けてからは、連日、猛暑が続くなど、非常に厳しい気候となっているが、警察署におかれては、引き続き管内治安の維持のため、しっかり頑張ってもらいたい。本日は、最後まで活発な意見交換をお願いする。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>本日、ようやく第一回八女警察署協議会を開催するに至ったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクの着用、会場入室時の消毒、ソーシャルディスタンスを確保した会場での開催となることを御理解いただきたい。</p> <p>私が八女警察署に着任し、協議会委員の方々には、それぞれ、個別の御挨拶には伺ったが、初めて協議会を開催するにあたり、改めて皆様に御挨拶を申し上げる。</p> <p>私は、警察官たるもの、情熱、誠実、団結が欠かせないものだと考えており、着任以来、署員には繰り返しそのことを言い続けている。</p> <p>また、署長としては、八女市、広川町の住民の方々の安全安心を確保し、署員の幸せを守ることが私の使命と考えている。</p> <p>しかしながら、八女市、広川町での勤務は初めてのことであるため、協議会委員の方々の話をよく聞いて警察業務の推進に努めて行きたいと考えているのでよろし</p>		

議 事 概 要

くお願いする。

【委員委託式】～委員1名に委嘱状を交付

【副会長の選任及び挨拶（要旨）】

これまで、警察署協議会に参加する際は、より良い会議にするため、事前に準備をして参加してきたが、今回、副会長に選任され、これまで以上に気を引き締めて警察署協議会に臨みたい。

署長から「情熱、誠実、団結を大切にしたい」との話があったが、一市民としてしっかりとそれらを旨とする警察活動を理解し、管内住民の安心安全な生活を守るため、精一杯協力していきたいと考えているのでよろしくお願いする。

【管内情勢報告】

- 1 令和2年上半期における管内の犯罪情勢について
 - (1) 刑法犯認知件数の推移
 - (2) 校区別の刑法犯認知件数（令和2年上半期）
 - (3) 特殊詐欺（ニセ電話詐欺）被害状況の推移
- 2 管内の交通事故情勢について
 - (1) 人身交通事故の発生状況（令和2年1月～6月）
 - ア 福岡県内の人身事故発生件数
 - イ 管内の人身事故発生件数
 - (2) 特徴的傾向（令和2年1月～6月末）
 - ア 交差点内及びその付近における事故 約49%～出会い頭、追突、右左折
 - イ 65歳以上の高齢運転者が第1当事者となる事故 約20%
 - ウ 駐車場内でのバック駐車（出船駐車）促進中
駐車場内での事故は、全事故の約3割を占めている
- 3 令和2年7月豪雨に伴う管内の被害状況と警察措置
 - (1) 令和2年7月豪雨の気象情報（八女市・広川町）
 - ア 大雨警報（土砂災害）
 - イ 洪水警報
 - ウ 大雨特別警報
 - (2) 被害状況
 - ア 人的被害～なし
 - イ 家屋、道路、橋梁、河川被害及び土砂災害の発生
 - (3) 豪雨に伴う警察措置
 - ア 八女市及び広川町の災害対策本部にそれぞれリエゾン（連絡員）1名を派遣
 - イ 矢部駐在所及び星野駐在所にそれぞれ署員2名を前進待機
 - ウ 住民に対する避難誘導活動
 - エ 災害発生現場における交通規制 等
 - (4) 最大避難者数
 - ア 八女市 476世帯、948名（7月6日21時00分時点）
 - イ 広川町 29世帯、69名（7月6日22時00分時点）
 - (5) 降雨量の状況、矢部村

議 事 概 要

- ア 24時間雨量 345ミリ（7月7日、黒木町）
- イ 最大時間雨量（1時間） 82ミリ（7月7日午前2時50分、矢部村）
- ウ 期間内総雨量 887ミリ（7月6日～7月8日、矢部村）

(6) 災害対策について

令和2年7月豪雨に関し、人的被害の発生を抑えた要因は

- 天候的要素
- 平成24年九州北部豪雨の経験による体制
- 各関係機関の対応

によるものと考えられる。

【質疑応答】

- 委員から「国道3号線、工業団地入口交差点から北東方向に入った広川町大字新代地区の住宅街を通る道路において、朝、夕の車両の通行量が多く、速度超過や一時不停止、方向指示器を使用しない車両が目立つとの声をよく耳にするので、その時間帯のパトロール強化をお願いしたい。」旨の要望があり、交通課長から、「早朝の通勤時間帯など、様々な時間帯において、可搬式オービスを使用した速度取締り等の交通取締りを行っているので、要望の道路の交通状況を確認して効果的な取締り、パトロール活動を行う。」旨の回答を行った。
- 委員から「八女市本村（杉町）から岩崎に抜ける道路は、朝の通勤の時間帯に国道の渋滞を回避するための抜け道として車両の通行が多い。しかし、付近には、小学校、中学校、高校、専門学校があり、児童や学生の通学の時間とも重なることから、歩行者や自転車で通行する場合には、危険な時間帯となっている。しかも、今後、近くで宅地造成が計画されていることから、車両の通行は更に増加すると考えられる。同所には、速度標識がないことから、交通事故防止のために速度標識の設置やスクールゾーンの指定を検討するとともに、同時時間帯のパトロールを強化して欲しい。」旨の要望があり、交通課長から「速度規制については、車両の通行状況、区長や住民の意見、予算など様々な面から検討する。住宅街の道路への速度標識の設置が難しい現状もあるが、朝の通勤、通学の時間帯での効果的なパトロールを実施する。」旨の回答を行った。
- 委員から、「以前の協議会で横断歩道の道路標示が消えて見えづらくなっているとの要望を出していたところ綺麗に引き直されていた。ありがとうございました。」旨の意見が出された。
- 委員から「今年3月に閉校となった矢部小学校前の国道442号線に黄色点滅信号が設置されているが、小学校の閉校・移転に伴い、児童の横断がなくなったことから、地元では、点滅信号も撤去か移転させてはどうかとの意見が出ているので、警察ではどのように考えているか教えてほしい」旨の質疑があり、交通課長から「県警では、以前から県下の信号機を減らしていく方向で計画が進んでいる。当署管内でもここ3、4年間で約10箇所の信号機を撤去しているので、利用が殆どなくなった旧矢部小学校前の点滅信号は、撤去する方向で検討する。」旨の回答を行った。

議 事 概 要

- 委員から「会社のパソコンに Apple や amazon などから、心当たりのない不審な内容のメールが届くことがある。そのメールは、返信せず無視する対応を取っているが、本来どのような対応を取ったらいいのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「不審メールが届く原因は、例えば、ある会社のパソコンがウイルス感染し、そこから取引のある各会社のメールアドレスが流出してしまうなど、様々な要因が考えられる。不審メールの基本的な対応方法は、開封せずに削除することである。
また、スマートフォンに届く不審メールも同じで、宅配業者を装った不在通知のショートメールなどが送られてきて、指定の URL を押下するとそれだけでウイルスに感染したり、偽サイトに移行してクレジットカード番号など、重要な個人情報の入力を促されたりするので、心当たりのないメールは削除することが重要である。」旨の回答を行った。
- 委員から「行政の立場から2点報告する。まず、7月豪雨対策に関し、今回、人的な被害がなかったのは、平成24年の九州北部豪雨の経験が大きかったのではないかと考えている。しかしながら、今回の豪雨で一番心配したのは、矢部川の水位が危険水位を超えたことであるが、日向神ダムの水位調整がうまく機能したこともあって、矢部川が氾濫する事態には至らなかった。
今回の災害対策は、コロナ禍での対応だったことから、3密を解消するために避難場所をこれまでよりも増設し、避難所にマスクや消毒液を準備し、避難された住民の検温を行うなどの対策を行った。次は、台風シーズンに向けて各機関と協力しながら対応して行きたいと考えている。次に八女市における高齢者交通事故防止対策に関し、65歳以上の高齢者に対して、後付けで車両のブレーキとアクセルの踏み間違い防止装置を取り付けた場合に費用の一部を支援する補助事業を行っており、現在約60件の申請を受けている。引き続き高齢者の事故防止対策にも取り組んでいきたい。」旨の報告があった。
- 委員から「世間では、SNSが原因の様々なトラブルが発生しているが、管内でも、そのような相談や事案の発生があるのか教えてほしい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「女性がSNSを介して男性と知り合い、性被害にあったり、男性から金銭を受領してトラブルになるなどの事案が発生し、捜査中である。」旨の回答を行った。
- 委員から「今回、7月豪雨の際に八女市、広川町の対策本部にリエゾンを派遣して災害情勢の情報共有を行ったとの報告を受けたが、私自身も消防団員として災害対策に従事したが、リエゾン派遣により、自治体、各関係機関と警察とが連携を図って災害対策に当たっていたことを心強く感じたし、継続してほしい。」旨の意見が出された。

【閉会】

以上をもって会議を終了した。

議 事 概 要